

21-1：江戸時代の人々に学ぶ、持続可能なくらし（千代紙ろうそく作り）

プログラムの内容

▶ 灯りの歴史について学ぶ。木蠟（はぜの木）や燈心草など天然の素材を使った和ろうそくと現在使われている石油由来（パラフィン）の西洋ろうそくの違いにふれ、火をつける実演を行う。灯りの利用方法などについても学習することにより、現在の生活環境をふりかえる機会となり、エネルギーの発展についても学ぶことができる。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

- ▶ **ゴール 4（ターゲット 4.7）**：灯りのある暮らし、生活様式の変化などを学ぶ。身近な現在の生活と昔の生活をふりかえる。
- ▶ **ゴール 12（ターゲット 12.8）**：昔のくらしと現在のくらしを振り返り、継続可能な生活、自然と調和がとれるくらしを考えてみる。



事前学習

- ▶ 灯りについて考える（イメージや疑問等）。
- ・現在の生活と昔の生活って、なにが違うかな？
- ▶ 知りたいこと、聞いてみたいことをまとめる。

現地学習

- ▶ 灯りの歴史について説明。
- ▶ 火の起こし方や使い方について知る。
- ▶ 「千代紙ろうそく作り」体験。

事後学習

- ▶ 灯りのある現在の生活をふりかえる。
- ▶ エネルギーの発展について調べる。
ろうそく→電気、熱エネルギーなど。

プログラムのポイント！



- ・灯りの歴史について解説しながら、火をつける実演も行います。
- ・ろうそくの灯りから現在の生活へ。エネルギーの発展や現在の生活をふりかえり、環境についても学ぶことができます。

受入人数	1回 36名
受入可能時期（休業日）	通年 火曜～金曜 団体受け入れ設定日
受入可能時間	①9:30～ ②11:00～ ③13:30～
体験時間	1回 60分

対象	小学1年生以上
1人/1回 当たり料金	1人 500円
備考 (雨天対応等)	雨天実施

▶ 問い合わせ

名称：千葉県立房総のむら
 担当：事業課 広報普及グループ
 TEL：0476-95-3333
 営業時間：午前9時～午後4時30分
 休館日：月曜日（祝・休日の場合は翌日）
 （令和7年度内容・実施日等要確認）